

平成 30 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	大竹市立小方中学校
-----	-----------

1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

本校では、小中一貫教育校の特徴としてのつながり（9年間の教育課程・小学校と中学校・学校と給食センター）を大切にしながら取組を進めている。昨年度までの取組の中で、教職員や児童生徒の食に関する意識の向上、それに伴う残菜の減少などが見られた。

一方、課題としては、食に関する指導の取組を計画的に実施すること、取組のねらいを明確にし、児童生徒にとってより充実した内容になるよう検討しながら取り組むことがあげられる。

2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

【学校教育目標】 かしこく やさしく たくましく ～協働し、挑戦し続ける人間の育成 ～

【食育目標】 食事を大切にし、自らの食事を通して健康管理ができる子どもを育てる
～食に関するつながりを通して、実践力をつける～

- 【成果指標】 ○食に関するアンケート等において食生活の改善を図った児童生徒の割合を高める。
(主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べている生徒…70%以上)
- 異年齢交流（交流給食）に対する児童生徒の肯定的評価を高める。
- 家庭において、食事を作ることに関わる児童生徒を増やす。
(食事の準備やあとかたづけの手伝いをしている生徒…80%以上)

3 食育の目標に対する具体的な取組

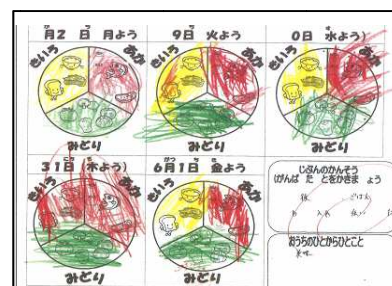
【取組1】（テーマ） バランスよく楽しく食べよう

①朝ごはんカレンダーの実施（小学校低・中学年）

【ねらい】

- 朝ごはんの内容を、記入することで、自分の朝食を見直す。
- 栄養バランスについて考え、よりよい朝ごはんへの意識を高める。

小学校1年生から4年生を対象に実施している。児童（又は保護者と一緒に）が、「朝ごはん」の内容を、赤・黄・緑に分けて記入することで、朝ごはんの栄養バランスを確認することができる。毎日の朝食を見直す貴重な機会として、今後も家庭の協力を得ながら実施していきたい。



（児童のワークシートより）

- ・食べた後の片づけ、ご飯を茶碗に入れる手伝いもしました。(1年)
 - ・食べられなかった日もあったからがんばります。(3年)
 - ・あか・き・みどり全部の色を食べるのは、大変でした。(2年)
 - ・毎日おいしいごはんでおいしく食べられました(4年)
- （保護者のメッセージ）
- ・いつも「美味しー、ママが作ったの?ありがとー。」と言って食べてくれて、とても嬉しいです。
 - ・朝ごはんカレンダーのおかげで、バランスを意識して食べることができました。
 - ・野菜をあまりあげられていないのが、(お母さんたちの)反省です。

おうちの人と一緒に朝ごはんを食べたものを、右の図を見ながらあか・せいろ・みどり色の食べものをバランスよく食べることができたかな?(自分で色分けして書)

	8月29日(水)	8月30日(木)	8月31日(金)
名前			
朝ごはんの絵	あか せいろ みどり	あか せいろ みどり	あか せいろ みどり
白	9月1日(土)	9月2日(日)	8月30日(金)
名前			

②学校給食を活用した食に関する授業の実施



小学2年生 学級活動
「やさいもりもり作戦をたてよう」

学校給食を活用した授業を担当(教科担任)と栄養教諭のT・Tで実践している。授業において学校給食を教材化することで、食のことや食材への実感をもたせながら学習させることができる。また、授業後の実践の場として、学校給食の時間を活用することができる。今後は、計画的に実施していくことが必要である。

③学校給食における児童生徒が考案した献立の実施

児童生徒の、食に関する意識の向上を図るために、教科等の中で児童生徒が考えた献立を、学校給食で実施した。学校と給食センターをつなぐ取組の一つとなった。

◇2月5日(火)

「受験生応援カツカレー・ひろしまレモン風味さっぱりサラダ・クラッシュみかんゼリー」

中学1年生が、家庭科「給食の献立を考えよう」において班毎に考えた献立の1つで、栄養バランスや地元の食材使用などを考慮しながら考えた献立である。受験生を応援するというテーマが加わった献立は、大好評だった。

◇2月6日(水)「おいしーけー食べてほしいな ミートローフ」

小学校給食委員会が、小学校全児童にアンケートを行い、苦手と答えた数が多かった食材「豆」と「きのこ」を、おいしく食べられるよう委員会児童が考えた料理。実施当日は「これならおいしく食べられる。」という児童の声が多く聞かれた。



「受験生応援カツカレー」他

「おいしーけー食べてほしいな
ミートローフ」

④異学年交流給食の実施 (スペシャル交流dayの中で)

[ねらい]

- 給食を共に食することで異学年の交流、親睦を深めると共に、中学生は小学生のお手本となることで自己有用感を高め、学園全体としての一体感・仲間意識を育む。
- はしの使い方、食器の並べ方、話題の選び方などの食事のマナーを考えることが、相手を思いやり、楽しい食事につながることを知る。

小・中の1クラスずつが、ランチルームで交流する。昨年度までの交流給食の反省を踏まえ、「給食を一緒に食べる」だけではなく、①事前の自己紹介、簡単な遊びでコミュニケーションをとる②中学生が小学生の配膳をしてから給食を食べる③食後に一緒に簡単な学習をし、中学生がアドバイスや採点を行うという方法で実施した。「給食を一緒に食べる」だけよりも、児童生徒のコミュニケーションが活発になり、児童生徒の嬉しそうな様子が多くみられた。小中一貫教育校の特徴を生かす取組として、今後も内容を検討してより充実した取組にしていきたい。



スペシャル交流day最後の学習
交流の様子

【取組2】(テーマ) 料理力(自分で調理する力)をつけよう

①自分で作る「弁当の日」の実施(小学5・6年生・中学生全員) [9月18日]

[ねらい]

- 家庭における弁当づくりを学校と家庭が連携して行うことで、食事について親子で考える機会を設け、子どもたちの食への関心を高めて、感謝の心を育む。



「おかず1品以上コース」から買い物・片づけまで含んだ「完璧コース」の内、児童生徒が自分が実施しようと思うコースを選択して取り組んでいる。個人差はあるが、自分で調理をする良い機会となっている。昨年度までは、給食の無い日を活用して実施していたが、本年度は、ねらいをふまえた取組とするため、休み明けの日に給食を停止して実施し、児童生徒全員の弁当を写真に撮って掲示した。



(児童・生徒のワークシートより)

- ・早起きが難しかった。どのタイミングで牛肉が焼けるのかを考えた。
- ・妹と一緒におかずを作ったので、楽しかった。少しだけ母に手伝ってもらったけれど、作りきれて良かった。
- ・前日にブロッコリーを茹でたり、ゆで卵を作ったり、準備をしました。
- ・お弁当を作るのは大変だと思いました。
- ・今回は、買い物から詰めるところまでできました。料理の腕をあげたいです。



参観日に掲示を見る保護者

②休みチャレンジクッキング「お弁当バイキングをしてみよう！」の実施（中学生希望者） [8月7日]

[ねらい]

- 楽しく調理し、弁当箱に詰めることで、「食」への関心を深め、調理の実践力を身に付ける。
- 友だちと一緒に調理・試食することによって、人間関係を豊かにする。

夏季休業中に毎年実施している。本年度は、弁当のおかずを調理し、弁当箱にバランスよく詰めるところまでを行った。生徒たちは、班毎で協力しながら、楽しく実習していた。主食・主菜・副菜＝3：1：2を意識して弁当箱に詰めることで、栄養バランスの学習にもつながった。



③学園祭クッキングブースの実施（中学1・2年生希望者） [10月27日]

[ねらい]

- 手軽にできるおやつメニューを、友だちと一緒に楽しく調理することで、「食」への関心を深め、調理の実践力を身に付ける。

学園祭の「クッキングブース」では、ブースタイム30分の時間内にできる簡単な調理実習を家庭科室で実施した。生徒たちは手際よく調理し、試食・片づけをすることができ、好評だった。



4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

①教科における「ひろしま給食」の調理（小学6年生家庭科）



オールスター担々丼の材料を炒めています。

小学校6年生家庭科の調理実習で、平成30年度ひろしま給食の「ひろしまオールスター担々丼」「フレーフレーサンフレぶどうゼリー」を作った。（もう一品は、ジャーマンポテト）各班で作業を分担し、ひろしま給食のチラシを見ながらの作業だった。小学校の家庭科ということで、ミンチの代わりにベーコンを使用。途中、ゼリー（粉寒天使用）が固まらないハプニングもあったが、再度沸騰させて何とか完成した。どの班もおいしくできて、児童はとても満足していた。「ひろしま給食、家でも作るね。」という言葉も聞かれ、家庭への啓発にもなったと感じた。

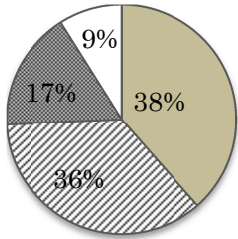
5 取組に対する成果と課題

《食に関する実態調査結果より》

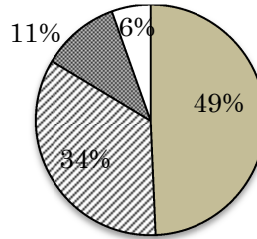
【成果】

食事の準備やあとかたづけの手伝いをしています。

自分で作る「弁当の日」を通して、食に関する興味が深まりました。

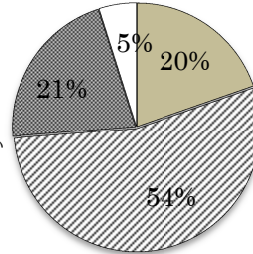


H29 年度〔中 2〕

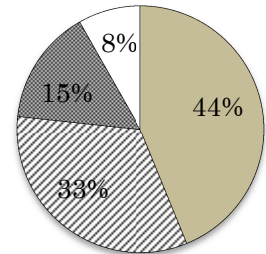


H30 年度〔中 3〕

- 1 よく当てはまる
- 2 やや当てはまる
- 3 あまり当てはまらない
- 4 全く当てはまらない



H30 年度〔中 2〕



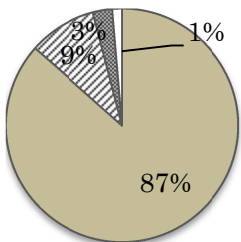
H30 年度〔中 3〕

テーマ「料理力をつけよう」に関しては、アンケート結果によると、本年度の中3は、昨年度よりも、「食事の準備やあとかたづけの手伝いをしている」生徒が増えている。このことは、生活時間帯の変化も考えられるが、料理力をつけるための取組によって、以前より調理をするようになったと考えられる。

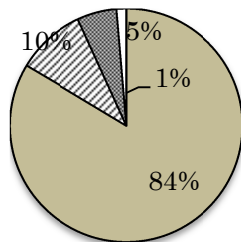
また、本年度「弁当の日」を通して「食に関する興味が深まった」生徒は、中2、中3ともに7割を超えていた。「弁当の日」の取組は、心身の健康や食品選択能力、感謝の心など様々な視点から生徒の食に関する意識を深めることができると考えられる。

【課題】

毎日朝食を食べています。

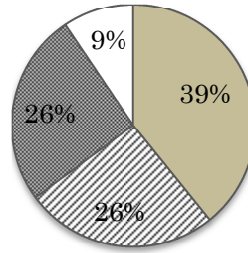


H29 年度〔中 2〕

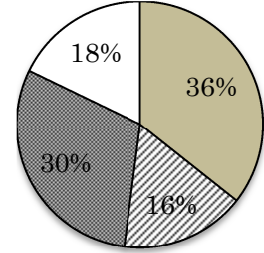


H30 年度〔中 3〕

主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べています。



H29 年度〔中 2〕



H30 年度〔中 3〕

テーマ「バランスよく楽しく食べよう」に関しては、本年度の中3は昨年度よりも「毎日朝食を食べる」生徒の割合が減っている。また、「主食・主菜・副菜がそろった朝食を食べる」生徒の割合も減っている。「朝食の大切さ」は広く知られているが、実際にはきちんと食べられていない実態があるため、朝ごはんカレンダーの取組の継続とともに、児童生徒への指導や保護者への啓発が必要である。

また、ランチルームでの「スペシャル交流デイ」については、交流の組み合わせや、継続するための方法の検討などがさらに必要だと考えられる。

6 今後の取組に向けた改善方策について

これまでの課題を整理する中で、今後も「バランスよく楽しく食べる」と「料理力（自分で調理する力）をつける。」を中心的な課題として取り組んでいきたい。

「朝ごはんカレンダー」「弁当の日」「スペシャル交流デイ」など、本年度実施している取組について、児童生徒にとってさらに有意義な取組となるよう、ねらいや実施時期、実施方法などを、教職員に加えて児童生徒とも検討しながら取り組んでいきたい。